



あぐい議会 だより

No.192

令和4年2月1日発行

Agui



阿久比町

Agui



阿久比町

Agui



阿久比
プレイガーデン プロジェクト
Agui Play Garden Project



輝く子どもたちを
みどりが包むまち・あぐい



阿久比
プレイガーデン プロジェクト
Agui Play Garden Project



阿久比町

Agui



阿久比町

Agui



阿久比町



輝く子どもたちを
みどりが包むまち・あぐい



輝く子どもたちを
みどりが包むまち・あぐい



目次

P2 議長新春あいさつ

P5 常任委員会レポート

P11 追跡レポート あの答弁はどうなった！

P3・4 第6回臨時会・第4回定例会

P6 「12月定例会」一般質問

P12 町民の声



マチイロ

まちを好きになるアプリ

自治体と地域住民をつなぐアプリ「マチイロ」に『あぐい議会だより』を掲載しています。

議長新春あいさつ



虚^{きょ}心^{しん}坦^{たん}懐^{かい}

阿久比町議会議長

渡辺 功

明けましておめでとーございます。
皆さまには、健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

平素は町議会に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行政をはじめ学校や社会教育事業など多くの行事やイベントが中止となり、区会や自治会の活動も相当制限されました。

地域経済も打撃を受け、行き交う人の笑顔も少なかったように感じます。

毎日の何気ない生活のありがたさや、人と人のつながりの大切さを強く感じると

もに、行政や住民の力が、いかに大きなものであるかを考えさせられた1年でもありました。

一方、IT技術の進化は新型コロナウイルスの影響により一層加速し、私たちの生活に定着してきました。今後デジタル化が進展し、住民と議会との関係が大きく変化していく中で、議会としてペーパーレスやオンライン会議などの導入に向けて研究を深めていきたいと思ひます。

昨年、議会だよりの新コーナーである「町民の声」において、読者の方から議員や行政に対する厳しいご指摘をいただきました。地方自治の本旨は、議会と執行部はともに切磋琢磨して、社会福祉をはじめとした



住民生活の向上に努めていくという、いわゆる二元代表制にあると考えます。

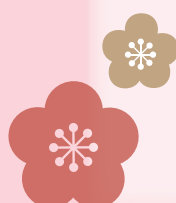
依然として厳しい財政状況ではありますが、行政としつかりとした議論を重ね、活力と魅力にあふれ、安全で住みやすいまちづくりを進めていくために、皆さまと心を合わせて全力を尽くしてまいります。

本町では、本年7月に参議院議員選挙、年末には町長選挙が予定されています。国や行政を託す重要な選挙であり、棄権することなく公明正大に代表を選んでいただきたく存じます。

コロナ禍で世の中が大きく変わろうとしているこの時に、私たちも変わっていくかねばなりません。大局的な視点から議論を行い、落ち着いたある調和の取れた議会を目指して職責を全うしていく決意であります。改めてコロナ禍の終息を願ひ、皆さまのご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

虚^{きょ}心^{しん}坦^{たん}懐^{かい}

なににごとにもこだわらず素直なこころ
でものごとに對すること。



令和3年 第6回臨時会

主な議決内容

会期／11月30日
議案／補正予算1件、報告1件

○賛成 ×反対 一議長

番号	件名	小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果
議案 44	令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
報告 5	専決処分の報告について(和解及び損害賠償について)	報告は賛否をとらない													

令和3年 第4回定例会

主な議決内容

会期／12月3日～17日
議案／条例2件、補正予算6件、諮問1件、意見書2件

意見書

町民の声などを
内閣総理大臣
などに提出

採択

シルバー人材センターに
対する支援を求める意見
書

提出者 久保秋男 議員

要旨

令和5年10月に消費税
においてインボイス制度
が導入される予定になっ
ている。インボイス制度
をそのまま適用すること
は、地域社会に貢献しよ
うと努力している高齢者
のやる気、生きがいを削
ぎ、ひいては地域社会の
活力低下をもたらすもの
と懸念される。
新たな税負担は、少額
の収入しかないセンタ
ーの会員の取手がさらに

減少することなく、セン
ターにおいて、安定的な
事業運営が可能となる措
置を要望する。

採択

ヤングケアラーへの支援
の充実についての意見書

提出者 都築清子 議員

要旨

ヤングケアラーは、日
常的な家事や家族の世話
など、年齢や成長の度合
いに見合わない重い責任
や負担を負っていること
から、本人の育ちや教育
への影響が問題となっ
ている。必要とする支援
は、福祉、介護、医療、
教育等様々な分野に及ぶ
ことから、施策の推進に
おいては関係機関やNPO
等の相互の緊密な連携
が不可欠である。ヤング
ケアラーに寄り添った切
実な支援の充実を
図るため、国におかれ
ては特段の措置を講じら
れるよう強く要望する。

議会避難訓練等 を開催

12月8日にシエイクア
ウト訓練、避難訓練、消
火器取り扱い訓練を行
いました。

始めに議場のある4階
の消火栓等の設置場所の
確認。避難訓練は、実
際に負傷者を想定し、担
架を使用しました。半田
消防署阿久比支署の方
の指導による消火器取
扱い訓練を実施し、命
を守る大切さを再認識
しました。



令和3年 第4回定例会

○賛成 ×反対 ー議長

番号	件名	小柳みゆき	澤田道孝	瀧塚政明	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	新美三喜雄	山本恭久	大村文俊	都築清子	久保秋男	渡辺功	結果
45	阿久比町使用料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
46	阿久比町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
議 47	令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
48	令和3年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
49	令和3年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
案 50	令和3年度阿久比町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
51	令和3年度阿久比町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
52	令和3年度阿久比町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
諮 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	適任
意 4	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	提出
見 5	ヤングケアラーへの支援の充実についての意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	提出
書															
陳 12	シルバー人材センターに対する支援を求める陳情書														
情 13	「地元自治体との連携による経営支援体制確立と地域商工業振興に対する施策の拡充」														
14	障害職場の一人夜勤をなくし、常時複数配置ができる基準にするよう国に対し意見書提出を求める陳情														
15	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書														

諮問

人権擁護委員の推薦(新任)

え はら まこ と
江 原 真 人 氏 (横松)

法務大臣へ推薦することになりました。
人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されないように全国の市町村に配置されていて、皆さんからの意見や相談を受け付けています。



常任委員会レポート

総務建設

令和3年度阿久比町
一般会計補正予算(第
8号)

た昨年度から「ふるさとチョイス」を利用しているため、件数、金額が飛躍的に伸びたと分析している。

問 歳入の一般寄附金、ふるさと納税の額が増えているが、その原因分析はどのようなになっているのか。

答 当初は一人当たり1万6000円を見込んでいたが、令和2年度の実績から一人当たり1万8000円に修正。

件数については、令和2年度は703件であった。令和2年度と令和3年度の9月末時点の伸び率を考慮し1000件と見込んだ。ま

問 情報管理の備品購入は、テレワーク用のパソコン30台分とのことだが、令和2年度に部課長会のペーパーレス化目的で30台のタブレットを購入している。今回のパソコンが本当に必要なのか疑問に感じる。使用目的、使用方法はどのようなになっているのか。

答 昨年のタブレットとは全く違う使い道と考えている。職員が新型コロナウイルスに感染した場合、役場内は執務スペースが密集する部分もあるので、その時に複数の課で感染が起きた場合でも対応できるように30台のパ

ソコンを見込んでいる。
問 ごみ減量化対策事業費で、廃プラスチック中間処理業務委託料約340万円とあるが、廃プラスチックごみがここまで増加した原因はどこにあると考えるか。

答 廃プラスチックの収集袋に本来は、資源ごみであるペットボトルが入っているのが原因の一つと考えられる。近年、調味料が軽量化で瓶からペットボトル等に切り替わり、そのためペットボトルが増加していると思われる。また、可燃ごみ袋の有料化に伴い価格が低い廃プラスチックの袋にペットボトル等を入れていられていると分析している。

(副委員長 山本良輔)

文教厚生

阿久比町使用料条例の
一部改正について

問 交流センターを4月1日から利用するには、2か月前の2月1日から使用受付をするのか。

答 2月1日より受付をする。

問 施設の一部分のみでの利用開始だが、安全対策はどうなっているのか。

答 開館に向けて整備を進めているので、安心して利用していただきたい。

問 管理人を置くのか。日中はスポーツクラブハウスの事務員で対応する。

問 今後、全館利用できるようにするのか。
答 役場内部での検討や、スポーツ団体などの意見を聞き、全館利用できるように考えていく。

令和3年度阿久比町
一般会計補正予算(第
8号)

問 東部小学校の増設したプレハブ校舎の床下の湿気対策。
答 修繕をする予定。

問 GIGAスクールの運用面はどのように進める考えか。
答 ICT部会を設け、進め方を研究中。家庭でのタブレット使用についても研究中。

問 現在、阿久比スポーツ村と医・科学研究所と併記された案内標識が町内に7か所あるが、どのようにするか。
答 愛称を町民に募集

することも踏まえ検討している。

学校給食センター
「あぐもぐ」視察

令和3年9月1日より、アレルギー対応除去食の提供が開始された。委員全員で視察を行い、担当者より現在対応しているアレルゲンは、卵・乳の2種類であること、他市町の事故事例を参考に対策を徹底させている事等の説明を受け、アレルギー除去食に対する理解を深めた。



(副委員長 竹内卓美)

12月10日に総務建設委員会を、13日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う

今議会では、12月6日(月)に4名の議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町政全般にわたって、執行機関(町側)に疑問点をたずねるものです。

事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。

持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1ページで、掲載しています。

今回の傍聴人数 延べ **13人**

ページ	議員名	質問項目
7	竹内 卓美	1. デジタル化の推進
8	石川 英治	1. セアカゴケグモへの対応 2. 都市計画道路環状線 3. 阿久比町を旅する蝶、アサギマダラの休憩地に
9	都築 清子	1. 「子宮頸がんワクチン」接種勧奨 2. 「歩行者優先のまち」宣言の具体施策
10	新美三喜雄	1. 町の2大文化の継承 2. 区長・自治会長の要望書の扱い 3. 第6次総合計画の1年目の実施状況

答弁者



総…総務部長



民…民生部長



建…建設経済部長



教…教育部長



各議員が質問した記事に関連するSDGsの目標アイコンが掲載されています。

次回の議会開催予定

第1回定例会

令和4年3月4日(金)から開催の予定です。

デジタル化の推進



インターネット等の普及とともに進める

令和3年9月にデジタル庁が発足し、デジタル化は更に加速するものと推測する。

本町もICT活用計画が、令和2年10月に策定され1年が経過した。この間のデジタル化進捗状況も含め、デジタル化推進をどのように進めるのか。

問 阿久比町ICT活用計画「ICT活用に向けた個別施策」「行政手続きのオンライン原則化に係る取組」で、運用の見直し、オンライン申請の推進を図るとあるが、施設利用に関しては、利用開始日の午後でなければ申請ができない。

また使用料、手数料納付は原則窓口扱いである。
①この1年でどのような運用見直しをし、推進を図ってきたのか。
②その結果、オンライン申請はどのくらい増えたのか。

答 ①早急に運用を見直す予定はないが、イン

ターネット等の普及とともに、システム上で手続きが完結可能となった時点で見直しを検討する。

②施設予約のオンラインでの申請割合は、令和元年度13・6%、令和2年度14・8%、令和3年度11月末現在23・2%で、割合は増加している。

住民票等のオンライン申請は非常に少ない状況が続いている。

問 会議でのペーパーレスを進めていると聞いている。

①ペーパーレスを推進すると何がどう変わるのか。
②その結果、どんな変化

が期待でき、町民サービスにはどう生かすことができるのか。

答 町長 ①部課長会議等にタブレットを導入した事により、会議資料や内容をデータで職員に示す事ができ、迅速に全職員へ周知できるようになった。

行政協力員会に貸与したタブレットでは、情報伝達の防災訓練を実施し、地区の被災状況等の把握がより確実にできることを確認した。

②職員は、問題や周知事項を迅速に対処でき、町民からの問合せに対し素

早く担当課につなげることができるようになった。

行政協力員との連絡方法として、メールやSNSに現場写真や資料等を添付することにより、地区の問題事項を迅速に伝達でき、行政協力員同士の情報交換も可能になった。今後も正確かつ迅速に情報を伝達する手段としてタブレットを利用していく。

問 現在、月1〜2回発行されている広報AGUI

1。1回1万部超が発行され、文書送達員によって町民に配布されている。町HPでもバックナンバーも含めて閲覧できる。

デジタル化を進める今、広報AGUIはどのような変革させていくのか。

①広報AGUIのデジタル化はどのように進めようと考えているか。
②現在、具体的に検討している事はあるか。

③広報AGUIの未来形は、どんなものか。

答 ①ホームページでWEB版とPDF版、アグナビ、マチイロで閲覧できる。その他の有効なデジタル媒体も研究する。
②具体的に検討している事はない。

広報の発行部数や発行回数は検討する。

③必要な情報を見つけていく魅力ある広報にしていきたい。あらゆる世代が平等に情報を手でできるよう、紙とデジタル媒体の両方で発信していく。

問 デジタル庁より、地方自治体の基幹業務システムのプラットフォームが示され、令和7年度末までに原則すべての自治体で活用が開始される。令和5年度から7年度末まで移行期間になっている。導入費用削減のため、他市町との共同調達も考えるべきと思うが、どのように考えるか。

答 ①共同調達は必要なくサーバ、OS等を共同利用することで費用の削減ができる。



竹内 卓美 議員
(済和会)

セアカゴケグモ



広報等で情報の周知をはかる

全国各地で毒をもつ外来種のセアカゴケグモが発見されている。

本町でも令和3年度に入り、東部地区で1件、11月には、植大地区の側溝でも1件が確認されている。

町民の安全な暮らしを守りたいと考える。

問 春になり気温が上がると、セアカゴケグモの活動が活発になり、被害が懸念される。

町の対応策。

答 セアカゴケグモの積極的な駆除は行っていないが、情報が寄せられた時は現地を確認し、殺虫剤を噴霧する等の対応を行っている。

町民の方へは目撃した場合、素手でさわらず殺虫剤の噴霧や、踏みつぶす等の対応をお願いしている。

今後も町のホームページや広報等でセアカゴケグモの情報の周知を図る。

都市計画道路環状線

西からの先行はない



問 都市計画道路環状線は、名鉄線と野崎の交差点の問題が解決せず、まったく進展がみられないままである。

「東方面からの話が進まないのであれば、西の方から工事を進め、少しでも早く矢勝川に橋を架けて欲しい」という声が出ているが町の考え。

答 都市計画道路環状線は環状機能を担う幹線道路であるため、一連の区間が整備されることで事業効果を発揮する道路である。

そのため、未整備区間約1・6kmの区間を整備し、事業効果を発揮することが大前提であり、先行して西方面のみを進めることは無いと県から聞いている。

アサギマダラ

フジバカマの管理が前提

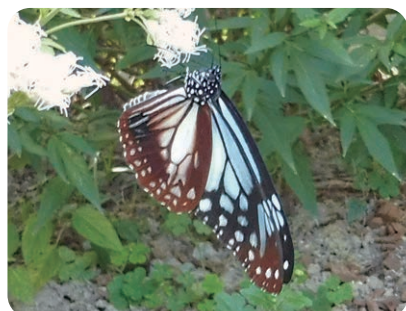


アサギマダラ

問 令和2年第4回定例会で「本町の観光資源としてフジバカマを植えアサギマダラを呼んでほしいか」について質問した。

その後、私が個人でフジバカマ30株ほど植え、調査したところ10月10日頃から月末までの間フジバカマの花にアサギマダラがコンスタントに飛来し、私が目撃した範囲で、最大6匹を確認した。

町内の耕作放棄地や公園に取り入れる考え。



答 耕作放棄地をフジバカマの花畑として再生する事は有効である。

しかし、フジバカマは、日常的な水やりや定期的な株分けなど継続的な管理が必要な植物である。

地権者とボランティア等が協力し管理を行うことが必要。

また、公園等の公共施設については、ボランティア等や地元住民が積極的に管理することが前提であれば、植栽場所の提供は検討したい。



セアカゴケグモ



石川 英治 議員
(新風会)

子宮頸がんワクチンの勧奨



対象年齢の女性へ情報提供

子宮頸がんは年間約1万人の女性が罹患。ワクチン接種後の副反応が疑われる症状があったため8年間勧奨が中止されていた。

その後、国内外の調査で有効性の根拠が確認され、厚生労働省の専門部会は接種を促す「積極的勧奨」の再開を決定した。

問 令和元年と2年の接種対象者と接種率。

答 国からの通知に基づき令和2年度から、高校1年生になる年齢の女性に子宮頸がんワクチンに関する通知を行った。

令和元年年度	接種者 2人	接種率 1・6%
令和2年度	接種者 129人	接種率 4・7%

問 積極的勧奨の再開時、情報提供の方法と周知対象、周知の方法。

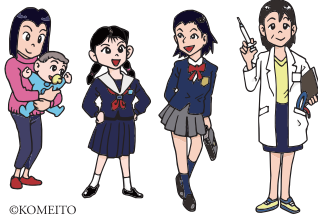
答 リーフレットの作成及び町HPや広報あぐいなどで情報提供。

中学校1年生～高校1年生になる年齢の対象者に個別通知を実施する考えである。

問い合わせに対し、保健師がしっかりと説明し、相談者に寄り添い助言をしていく。

問 定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合の情報提供と対象者への周知方法。

答 救済制度が決定された場合、定期接種の対象者と同様の情報提供が必要と考えられ、これに備える。



「子宮頸がんワクチン」は女性の未来を守る

「歩行者優先のまち宣言」の

具体施策

路面表示や防護柵を設置

行政、住民の両方の意識向上が不可欠。町全体が「歩行者優先のまち」と実感するための施策や自動車等が安全に走行できることも重要である。

1回の道路パトロール実施、町HPで情報提供依頼や、行政協力員による道路損傷の報告を依頼し、迅速な対応に努めている。今年度は「いのちを守るまちづくり」として、重点的な予算配分により計画的に補修工事を実施している。

問 ①道路舗装不良箇所の早期発見と改善。

②道路白線の引き直しのタイミング。

③安全運転装置支援の啓発と補助数。

答 ①建設職員による週

②総 町に停止線や横断歩道の情報提供や要望があった場合、半田警察署にその都度連絡や要望をしており、何度も要望し続けることもある。区画線は、町が交通安全施設工事として実施している。

③総 町HP広報で啓発。令和2年度 19件、令和3年11月末現在 8件

都築 清子 議員
(公明党)

問 半田警察署との連携。

答 総 宣言の以前から、本町の交通安全キャンペーンや交通安全教室など

の啓発活動に協力して頂いており、これからもさらに連携を強化して交通安全対策に取り組む。

問 今後の具体策。

答 総 職員が町民の模範となる運転マナー、交通ルールの厳守を徹底していく。園や小学校の交通安全教室で、「ハンドアップ運動」を奨励。中学生の自転車通学者に歩行者への安全配慮についての交通安全教育をする。

危険な交差点や横断者の多い場所などに路面標示を設置、歩車道境界には防護柵を設置し、歩行者が安全で安心して道路を通行できるように対策を講じる。



「宣言だけでなく安全対策も期待！」

町の2大文化の継承



意見を述べる立場にない

- 問** 菊花展の規模を縮小し開催方法も簡便にして存続させていくことは、
- 答** 町にとっても重要なイベントの一つであり、町民の目を楽しませていただいたことは、うれしく思うが、開催方法について意見を述べる立場にはない。
- 問** 令和4年度予算にて補助金の対象になるのか。
- 答** 4年度当初予算への要望は、柔軟に対応したいが、菊花連合会の不適切な会計処理が問題となっている今、事業主体事業内容、事業予算案が何も決まっていない現状では予算計上できない。
- 問** 当面の開催地区だけの課題とせず、全ての開催地区の代表で協議し、今後の存続について検討すべきと思うが、町として、文化遺産の継承・存続を促進するという視点からどのような考えか。
- 答** 八百年以上受け継がれてきた虫供養は地区の皆さんのご尽力により守り継がれており、保存会の議論の中からより良い方策を導き出し、未来へと引き継いでいただけるようお願いしたい。町として、指定文化財である掛軸は、当番地区へ補助金を交付していく。



令和3年度宮津菊花展

区長・自治会長からの要望書

年2回進捗を回答する

各地区からの要望事項は、住民の意見を基に区長・自治会長が内容を確認し、区会審議のもと、

町に提出されているもので、住民の満足度の大きなバロメータになっている。

問 実施についてわかりやすくすることが、住民へのフィードバックには必要なことだが、受付けた案件のすべてに関し、区長・自治会長には回答すべきだが、どうか。

答 予算や緊急度などから優先順位をつけ、地区によって偏りが出ないように対応している。

実施済みの案件は9月末に中間報告を行い、翌年の3月末に対策状況の進捗を、区長・自治会長に回答する。

第6次総合計画 1年目

半期では評価できない

11月15日広報にて今年度の上半期の予算消化実績が示されたが、住民が知りたいのは、実施された政策の進捗である。

問 進捗が悪い政策に対し、今年度後期以降どのように反映させるのか。

答 予算執行は年度末に行われる事業が多く、一概に進捗が悪い政策と判断はできない。総合計画の中間評価は令和7年度に実施する予定。

問 令和4年度予算編成が進む中で、編成方針は

答 「いのちを守るまちづくり」に主眼を置き、住民の生命や生活を守るために必要な施策を計上し、「輝くこどもたちをみどり」が包むまち・阿久比」を目指す。



新美三喜雄 議員
(新済会)

あの答弁は どうなった!

01 介護保険

議会だより 第172号掲載 (2017年2月1日)

Q 介護施設・事業者への対応

A 新たに設ける緩和した基準のサービスについて事業所に対し説明会の開催、意見・意向の聞き取り、多くの事業所の参入を進める。

現在は

説明会を2回開催し、意見・意向の聞き取りを2事業所に実施した。
現在の登録数は、通所Aが2事業所、訪問Aが6事業所となっている。

02 業務事業継続計画

議会だより 第172号掲載 (2017年2月1日)

Q 耐震改修促進計画の耐震診断ローラー作戦の進捗状況

A 地区へのダイレクトメールと共に近隣市町の事業効果を勘案し実施を検討する。

現在は

耐震診断ローラー作戦として、平成29年度、平成30年度に個別訪問を実施した。引き続きダイレクトメール等による普及・啓発に努めている。

03 阿久比町PAコンセッション事業

議会だより 第174号掲載 (2017年8月1日)

Q 町・商工会・地域生産者・企業・団体等と連携して早急に研究

A 町は千載一遇のチャンスと捉え、関係者と情報交換・共有を図り連携していく。

現在は

阿久比町都市計画マスタープランに「緑のふれあい交流拠点」として新たな集客・交流拠点を位置付け、関係者等と情報交換・共有を図り、連携して進めている。

04 新学校給食センター

議会だより 第176号掲載 (2018年2月1日)

Q アレルギー対策エリアの運用

A 給食運営が軌道に乗るまでは現状の対応で実施し、段階的に卵・乳について対応し、他のアレルゲンについては、その状況を見て検討していく。

現在は

令和3年9月から、保護者・学校などとの相互理解のもと安全性を確保した「卵・乳」のアレルギー対応除去食を開始し、約20名の幼児・児童・生徒に提供している。

私は言いたい! 町民の声

町議会への期待・要望・知りたい事 及び 地区の自慢 など

「議会だよりを見て」

宮津地区 新美 吉明

随分と久しぶりに数字の議会だよりを読ませて頂きました。議員の皆様が議会で審議されている内容が簡潔な文章でまとめられ、町政に関わるたくさんの方の議事があることに驚きました。また近年話題のSDGsの目標17項目と議事の関連がアイコンで示され、議員の皆様と町政が世界中の国々と一緒に、目標達成に向けて活動していることを誇らしく思いました。ただこれらの議案の中には、私達の生活との関わりがわからない内容もあります。この議会だよりを一般の町民に興味を持って読んでいただくには、この関わりがわかるようにする視点の編集が必要ではないかと思えます。

令和3年4月より区長を務めさせていただき、区民の皆様の生活インフラの様々な問題、例えばカーブミラーの新設、排水溝の補修、道路表面の欠損補修等があることを

知りました。

区長としてこれらの対策を町にお願いするのですが、実施までに長い時間を要することが多く、その間区民の皆様にご不便をおかけすることになります。このような区民の声に迅速に対応するには、議員の皆様のお力添えが必要な案件もあります。町政においては末梢な領域ではありますが、ご協力をお願い致します。



私の投稿が「町民と議会をつなぐ議会だより」に向け、お役に立てば、うれしく思います。

「がんばれ草木っ子」

草木地区 森 英夫

一昨年の夏から草木小学校の見守りパトロール活動に協力しています。ボランティア活動とはいえ、実は児童との挨拶や会話を通して、私自身活力をもらっています。その中で体験した一つをご紹介します。

低学年の男の子が泣きながら下校してきました。その横には、なだめる女の子がいます。「どうしたの?」と声をかけると、その子は「お兄

ちゃんと正門で待ち合わせと一緒に帰る約束をしたのに、僕は守られずに帰ってきてしまった。学校に戻って待たなければ」と言うのです。私は「ここで、お兄ちゃんを待ったら」と話すと、なだめていた女の子と2人で算数の宿題を始めました。どうも2人は姉弟で、お兄ちゃんも含めて3人兄弟だったようです。しばらくすると、こちらに歩いてくるお兄ちゃんを見つけ、2人は駆け寄り3人仲良く家路を目的のあたりにして、男の子の素直さと寄り添った女の子の思いやりの心が、もっと輝いてくれるものと期待する体験となりました。暑い夏の帰路でのホットした出来事です。

皆様からの原稿を募集しています!

議会への期待・要望や地区の出来事・自慢等お寄せ下さい
応募は、議会事務局まで

電話 0569-48-1111 (内線1401)
FAX 0569-48-1711
E-mail: gikai@town.agui.lg.jp

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
とございます。

本来の干支は、「十二支」と「十干」を組み合わせたもので、前者は「時間」後者は「空間」を表し、60年で一巡します。今年は壬寅（みずのえとら）と言い、母虎で優しいトラだそうです。町民の皆様の、明るく健やかな一年をお祈り致しております。

(新美三喜雄)

議会だより編集特別委員会

委員長	新美三喜雄
副委員長	小柳みゆき
委員	久保秋男
委員	瀧塚政明
委員	竹内卓美
委員	山本良輔

次回定例会

3月4日(金)

午前10:00～
開催予定

皆さんの傍聴を
お待ちしております!